

都筑こどもNEWS 2017

つづきジュニア編集局の記者たちが、年間を通して取材した「都筑こどもニュース」のダイジェストをお届けします。
ホームページにはもっとくわしい取材の記事をみることができます。「つづきジュニア編集局」で検索してぜひご覧ください。

おもしろい研究室がたくさん! 東京都市大の横浜祭

6月の日曜日、東京都市大学横浜祭に行きました。会場はとてもにぎわっていました。ジュニア編集局と一緒にサポートしてくれている中村研究室は、360度見回せるビデオでVR「みどりんを探せ」という企画をやっていました。VRとは、バーチャルリアリティの略で、映像の中に自分が入り込んだかのように感じさせる技術や方法のことです。360度写せるカメラで撮るだけで作れるそうです。意外に簡単で驚きました。



小池研究室のブースでは、3Dプリンターがあり、パソコンで枠・文字・大きさ・色を決めて、キーホルダーを作ることができました。他にも鉄道研究部展示には60台以上の電車の車両があり、ジオラマの電車には、カメラが付いているものもありました。

また、会場では使った食器を戻すと、お金がもどるリユースをとりいれています。このような活動は、ごみをポイ捨てる人が減るので、環境にとてもいいと思います。(2017.6.10)

横浜市民の大切な場所 「新市庁舎」ただいま工事中!!

新市庁舎は、2020年6月末の完成予定。地上32階建て、地下2階建てで155mになります。この高

さは日本の市庁舎の中では1番となります。



また、オリジナルブランドの野菜には、「アンデス」メロン、「プリンス」メロン、トマトでは「アイコ」、「王様トマト」などあります。

「アイコ」を試食させていただきました。すこし細長いミニトマトで、とても甘くておいしかったです。



園内にある市役所から一体なぜ建て替えを行うのでしょうか?

市役所勤務の職員は約6千人で、園内の市庁舎だけでは足りず、現在周辺のたくさんのビルを借りています。その費用は1年で20億円以上。それを抑えるためでもあります。また、1つの建物で仕切りを無くし、別の部署と連携し、よりサービスを充実させるためです。そして市役所の中にアトリウムという広場をつくり、イベントやコンサートなどができるようになります。横の大岡川の川沿いに憩いの場所をつくります。

新市庁舎は市の行政だけでなく、市民も気軽に使えるようふうされていて、市民一人ひとりの意見が聞けて、より良いまちになれるな、と感じました。(2017.6.10)

都筑区から世界中に花と野菜をひろめるサカタのタネ

花や野菜の品種を研究開発し、販売しているサカタのタネは今年で創業104年です。創業時小さかった「坂田農園」が、世界中に知られるほどの大きな企業に成長しました。

そんなサカタのタネの本社が都筑区にあります。研究開発の例では、世界初となる無花粉ヒマワリも開発し、花粉が部屋に飛び散り、飾りにくかったヒマワリが、家の中で楽しめるようになりました。



まず朝一番に象を外に出し、象舎の汚れを水で流す作業から始まります。広い部屋の床をプランでこすり、水で洗い、水きりをして掃除は終了。ちなみに1回の掃除で出る粪の量は、約200kgとすごい量です。

午後は象のトレーニングや、掃除・ミーティングです。今回の取材で、心臓の働きや

私たち、象の「ラスクまる」のえさの準備を手伝いました。えさの量は、乾草・青草・わらを合計15kgです。えさを保管している冷蔵庫や冷凍庫なども見学しました。動物ごとにこのみが違い、細かくえさが用意されていました。象を飼育するお仕事は、象への優しい気持ちを持つことが、とても大切なんだを感じました。飼育員さんはまさに、「ズーラシアの園(縁)の下の力持ち」ですね。パオヘン!(2017.7.31)

命を守る機器を販売する「フクダ電子」

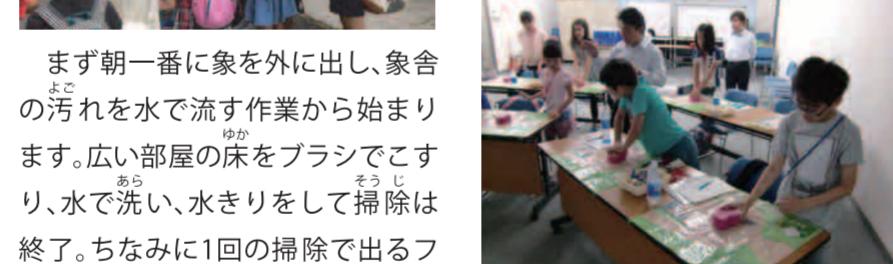


エントランスすぐのところにある、グリーンプラザは、会社営業日の平日9時~16時であれば、誰でも入って鑑賞することができる、無料の温室です。ぜひ行ってみてください。(2017.6.10)

ズーラシアの裏側に侵入! 飼育員さんのお仕事体験

ズーラシアは、横浜市旭区にある動物園です。とっても広いのですが、私たちエントランスから入ってすぐの、裏道から象舎へ入らせてもらい、飼育員さんから象のお世話のしかたについて教えてもらいました。

1935年に国産第一号の心電計を開発し、1939年に東京で創業しました。フクダ電子の販売先は、主に、医療施設になりますが、それだけではなく、家で療養される患者さんが安心して使用できるものなど、難しい試験を行った様々な医療機器を製造販売しています。



身近なところでは、国内にあるAEDの約半分が、フクダ電子の製品です。今回の取材で、心臓の働きや

血液について、いろいろなことを教えてもらいました。心臓は体全体に血液を送り出すポンプで、もしも止まると、5~10秒で気を失い、5分もたつと脳が死んでしまいます。

そんなとき身近にAEDがあれば、命が救える可能性があるのです。AEDで自分にも救える命があると知り、これからも多くの場所にAEDを置いて欲しいと思いました。(2017.8.13)

(2017.8.3)

日本一小さい 貴重な映画館が横浜にあった!

西区藤棚商店街にある、日本一小さい映画館シネマノヴェチエントは、現在ではめずらしい、フィルムでの上映をしています。昔からある古い映画館?と、思うかもしれませんが、2015年開館です。



仲町台のドイツ学園近くにある「フクダ電子」は私たちの命を守る機器を販売するお仕事をしている会社でした!

オーナーの箕輪さんは、デジタル化できない映画や、どうしてもフィルムで見たい映画があり、それらを楽しめる場所をつくりたい、とフィルムでの映画館を開きました。

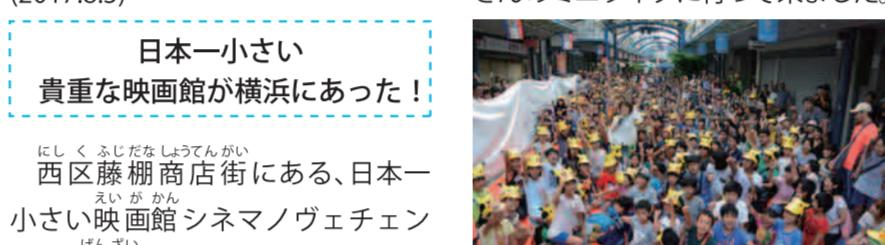
映画館は常に新作を上映し、お客さんをたくさん集めていると思っていたが、ここは古いフィルムの映画を上映していて、席も28席しかありません。このような映画館があることを初めて知りました。フィルムを光にすかせて見ると絵が書いてあり、フィルムで映した映画を見てみたいと思いました。

「自分のやりたいことができていいので毎日良い」「この仕事をして

いて、1度も後悔したことはない」と言う箕輪さんのお話を聞いて、やりたいことができる原因是素敵なことだなと思いました。将来、やりたいと思った仕事ができるようがんばりたいと思いました。(2017.8.13)

松本梨香さん 藤棚商店街でミニライブ

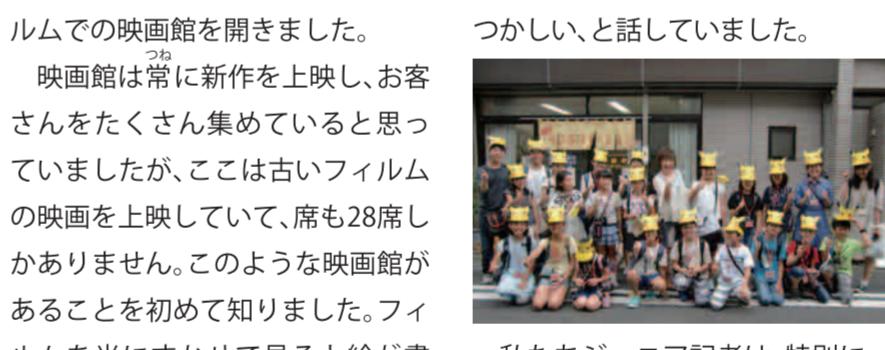
藤棚商店街で行われた、松本梨香さんのミニライブに行ってきました。



放送終了後、DJの光邦さんから「ラジオが家にあって、聞いている人はいる?」という質問に、ジュニア記者でラジオを家で聞いているという人はいませんでした。光邦さんはとても明るく、話しやすい方で、「ラジオは災害の時に情報を得る大切な手段として使えるものだから、必ず持っていた方がいいよ」と教えてくれました。

この仕事をして気を付けていることは元気に話すことで、どんな時でも元気に話すのは少し大ですが、いろんな人の悩み相談などで「悩みが晴れた!」と言われたときは、やりがいを感じるそうです。

この仕事をして気を付けていることは元気に話すことで、どんな時でも軽く、洗えるスーツや、しわにならない生地を開発して、きれいなままずっと着ができるようになりました。



私たちジュニア記者は、特に一緒に写真をとってもらいました。面白く、明るい性格そして私たちみんなを元気と笑顔にできる、梨香さんのようなお仕事はとても

2017 都筑こどもNEWS

いいなと思いました。(2017.8.13) DJ光邦さんに聞くラジオの魅力 ～FMヨコハマ取材

FMヨコハマは、1985年に生まれたラジオ局です。ランドマークの10Fから地域密着の放送を84.7MHzで届けています。朝の番組「ちょうどいいラジオ」を生放送しているスタジオに入らせてもらいました。



進化しつづけるスーツ! 紳士服のAOKIを取材

紳士服のAOKI。実は紳士服だけではなく、AOKIホールディングスとして幅広く事業をしています。ファッション部門では「AOKI」や「ORIHICA」、ブライダル部門として、結婚式場の「アニヴェルセル」や「アニヴェルセルカフェ」。エンターテイメント部門として、カラオケの「コートダジュール」、会員制の「快活CLUB」など。



取材したすみれが丘店は、2万点の商品がおいてあり、スーツだけでも2千点、50のサイズが揃っています。AOKIでは、スタイリスト認定書を持つAOKIカスタマーズスタイルがいつもお店にいて、スタイリングのアドバイスをしてくれます。

どんなときでもお客様からの声や要望に応えていきたと、うすくても軽く、洗えるスーツや、しわにならない生地を開発して、きれいなままずっと着ができるようになりました。



今回の取材で、大人になって、スーツを着るときの参考になりました。(2017.8.21)

広告



こちらをクーポン券としてご持参いただければ直送米10kgで100円引き!

都筑区荏田南5-8-12
都筑区・青葉区全域、周辺地域配達無料(日曜日定休)

港北ニュータウンエリアの 住まい探し

お任せください! センター北駅徒歩1分 あいたい5階 リスト 不動産

List Sotheby's INTERNATIONAL REALTY
港北ニュータウン支店
FREE 0800-800-2462
Each Office Is Independently Owned And Operated.

学力を伸ばした小学生に

読売kODOmo新聞

毎週木曜日発行
月額500円(税込み)
タブロイド判
オールカラー 20ページ



読売kODOmo新聞は、早いうちから新聞に親しむ習慣を身に付けてもらい、子どもたちの成長を後押しすることを願って、2011年3月に創刊した小学生向けの新聞です。イラストや写真を大きく使ったレイアウトで、ニュースや社会の仕組みを楽しく、分かりやすくお伝えします。1週間の政治、経済、事件、国際、スポーツの主要な記事を選び抜いて掲載しているので、家族で読むのはもちろん、学校の授業にも役立ちます。学年誌や図鑑の編集に定評のある小学館や、大手学習塾・四谷大塚の協力も受け、他紙では読めない楽しい読み物や、学習コーナーを用意しています。

進路が気になる中高生に

読売中高生新聞

毎週金曜日発行
月額780円(税込み)
タブロイド判
オールカラー 24ページ



読売中高生新聞は、「10代が世の中を知る教科書」のような新聞を目指し、2014年11月に創刊しました。ニュースをはじめ、スポーツ、英語学習、書評、エンターテインメントまで、30以上の多彩なコーナーがあります。若者が読みなれた横書きを採用し、注目のニュースはイラスト・図表をふんだんに使って紹介。将来の職業を考える機会となるように、各界のプロを密着取材した記事を毎週掲載しているのも特色です。また、スマートフォン用の無料投稿アプリ「Yteen」を開発し、安全なネット環境での交流・議論の場を読者に提供しています。

申し込みは 0120-4343-81 または最寄りの Y teen (読売新聞販売店)へ